



令和4年度

瀬谷小だより

10月号



令和4年9月22日
横浜市立瀬谷小学校

学校ホームページ <https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/seya/>

セヤリンピックでさらに深まるバディ

校長 石渡 範子

バディの関係は、一言では言い表せないものがあります。先日演技の練習をしていた4、5年生。最初から最後まで通して踊れるようになるまでには、それなりの練習が必要で、1曲をいくつかに分けて振付を覚えていきます。教える方も真剣そのものですが、覚える方も必死です。指先まで神経を行き渡らせ、曲のリズムに合わせて迷いなく踊る5年生の姿を、隣で必死に見ているバディの4年生。今度は交代し、先ほどと同じ曲のところを4年生がリズムに合わせて手足を動かします。その姿をバディの5年生が心配そうに見守ります。「1、2、3、4。そうそう。今の良かったよ！」などと励ましながら、「この次はここの手をこっちに向けてね。」などと真剣に教え教えられる姿には目を見張ります。「ちゃんと覚えられようか。」「ちゃんと教えられようか。」他の学年バディでも見られる光景です。相手を意識した物事の考え方や言い方を、体験を通して微妙な心の動きと共に学び得ていく貴重な時間です。バディの組み合わせは『1、6年生』『2、3年生』『4、5年生』。セヤリンピックはこの貴重な時間を大切にしながら関わりをもっていく行事の一つです。

これから、様々な活動を共に過ごしながらバディとの思い出を増やしていきます。瀬谷小学校が大切にしている教育の一つです。6年生が卒業の時には、バディの1年生と別れを惜しみ、共に悲しみます。それだけ深い関わりをもってきたからです。1年生と6年生は年も離れていますので、6年生が1年生の面倒を見て可愛がり、1年生が6年生を慕うという関係にとどまらず、お互いにかげがえのない存在となっていくと思います。

今年の運動会も、全力で走ったり応援したりするまぶしい姿とバディ活動を通して芽生えている相手を思いやる姿や温かなまなざしが見られることを楽しみにしたいと思います。保護者の皆様にも、是非ご覧になっていただきたいです。

本校の運動場は決して広い方ではありません。新型コロナウイルス感染症対策を考えて、今年も参観は一家庭2名までとさせていただきます。今年は、お子さんの出番では優先的に前列でご覧いただけるような「ゆずりあいゾーン」を設けます。保護者の皆様でお声掛けをしていただき、お越しの皆様が気持ちよく応援していただけることを願っています。

令和4年度前期が間もなく終了し、後期が始まります。前期、努力してきたことは必ず身につき、成果として現れてきます。それがすぐに現れず、後になって本物の力として発揮されることもあります。結果ばかりが気になりがちですが、成長のリズムは人それぞれです。努力を惜しまず目標に向かって継続してほしいです。学校とご家庭とが両輪となって、お子さんを導いていかれることを願ってやみません。後期からもよろしくお願いたします。